様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2025年　6月　13日

福井県知事　殿

提出者

住所　京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町８番地
京都三井ビルディング８Ｆ

氏名　進工業株式会社　代表取締役社長　岡本 直用

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	進工業株式会社　小浜事業所
事業場の所在地	福井県小浜市野代４号土渕３１の２
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	Ｅ２８　電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	製造品出荷額　１００億円
③従業員数	進工業株式会社　小浜事業所　従業員数１８７名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工場内設備➡送排水配管➡中継タンク➡送排水配管➡貯蔵タンク➡運搬委託➡処分委託 ※社内処理ができないため委託業者に処理をお願いしています。

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
事業所代表者（工場長）：廃棄物処理管理の指示
⇓
廃棄物総括責任者（特管責任者）：処理方針の策定等、廃棄物処理施設技術管理者
⇓　処理計画作成、委託業者選定、委託契約締結
⇓　マニフェストの交付・管理等
廃棄物管理（総務管理者）：廃棄物の分別、保管状況等の把握

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	
排出量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	― t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	― t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	― t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	― t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
		（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙②のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙②のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処　理　委　託　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処　理　委　託　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処　理　委　託　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処　理　委　託　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

別紙①

特別産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和６年度　）実績】

産業廃棄物の種類	強酸	フッ酸	廃アルカリ	
排出量	200.8 t	1238.7 t	458.8 t	t

（これまでに実施した取組）
・〈強酸〉メッキ条件の見直し及び水量の見直しを行った。
・〈フッ酸〉反応装置のガスを変更し、必要な水流を抑えた。
・〈廃アルカリ〉メッキ装置に流量コントロールを設置

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	強酸	フッ酸	廃アルカリ	
排出量	250 t	1400 t	550 t	t

（今後実施する予定の取組）
・〈強酸〉生産量増加により排水量が増加しているため、使用液の交換周期を見直し（交換周期の延長を検討）
　　シャワー洗浄に流量計を追加し、追加水量をコントロールする
・〈フッ酸〉反応装置のガスを変更し、必要な水流を抑える。
・〈廃アルカリ〉生産量増加により排水量が増加しているため、使用液の交換周期を見直し（交換周期の延長を検討）
　　シャワー洗浄に流量計を追加し、追加水量をコントロールする

別紙②

特別産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績

産業廃棄物の種類	強酸	フッ酸	廃アルカリ	
全処理委託量	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	200.8 t	1238.7 t	458.8 t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	強酸	フッ酸	廃アルカリ	
全処理委託量	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	250.0 t	1800.0 t	550.0 t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。